



宗谷南農協通信

No. 009

- 北海道宮田農政部長牧草被害調査
- 枝幸町農業PR動画作成
- 系統利用のお礼と協力をお願い
- 血圧計を設置しました
- 恐ろしい家畜伝染病ヨーネ病

- 授精所だより
- 食農みどり
- SDGsとは
- JAグループ通信

北海道宮田農政部長

牧草被害調査



草地の被害状況を確認する宮田農政部長（右から2人目）

8月20日～21日、今夏の高温少雨による牧草の多大な被害の状況把握の為、北海道農政部の宮田部長が宗谷管内を訪れました。

枝幸町の視察は20日に行われ、三好雅道議や関係機関の職員も同行した中、向井地組合長は「これまでもさまざまな災害を経験してきたが、牧草の被害で現地を見てもらうのは過去に例がなく大変ありがたい」と宮田部長に感謝を述べ向井地組合長案内のもと生育不良の草地を視察しました。

向井地組合長は、雑草が生茂った草地で、今年行った道営・公社営事業で更新された新播草地には牧草の芽が出ない事や、2番牧草の生育不良について説明し、高温少雨の影響が今後の牧草不足に甚大な影響が出ている事を訴え、宮田部長は、早急に対策をしなければならいと述べ翌日、他の宗谷管内の被害状況を確認し、2日間にわたる視察を終え、「畑作だけでなく草地にも高温少雨の影響が出ていることを確認した。越冬用飼料の確保に向けては、単協同士の奪い合いが起きないように、飼料が不足する各地の状況を把握し対応をしていかなければならない。9月末までには全道トータルの状況をつかみホクレンを中心としたJAグループとともに調整を図っていききたい」と説明がありました。

また、23日には北海道農民連盟より宮田部長に対し、高温や干ばつに、資材価格高騰などに関する対策を緊急要請しました。





インタビューを受ける向井地組会長

就農希望者へ

枝幸町農業PR動画作成

枝幸町農業推進連絡協議会は、枝幸町での就農希望者を誘致する為、PR動画を作成する事となりました。動画はおおよそ10分程度で、組合長から就農を考えている方へ枝幸町の良いところや枝幸町で就農する事のメリットなどを、この動画を見た就農希望者が枝幸町を選んでくれるように願いを込めてメッセージを伝えました。

また、新規就農を目指し研修している研修生の中から



研修生の高橋真彰さんと祐依さん



高橋慶大さん

ら、高橋夫妻に動画作成の協力をお願いし、出演してもらいました。

また、研修生受入れ農家で農業士の高橋慶大さんにも出演して頂き、今まで受入れた研修生とのエピソードや研修生を受入れる時に気を付けている事や枝幸町の魅力について語って頂きました。

最後に、令和元年度に音標で新規就農された孫穀さんにも出演してもらい、枝幸町で就農する事となった決め手や、枝幸町で就農して良かった事や、将来の



孫 穀 さん

夢についてお話しして頂きました。

その他にも、枝幸町の風景や公共育成牧場での放牧シーンなどを盛り込み、海と山に囲まれた雄大な大地で農業が出来るようなイメージでのPR動画作成ができたと思います。

この動画、就農フェアなどで活用する予定ですが、将来的には、撮影、編集を枝幸町農業推進連絡協議会で行い、JA宗谷南のホームページでも閲覧できるように考えています。

系統利用のお礼と協力をお願い

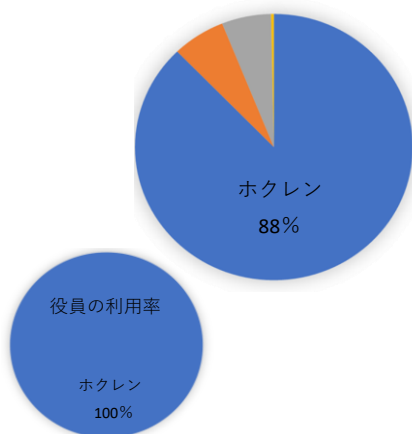
今年の配合飼料価格は4期連続での値上げ、牧草収穫においては例年になく高温少雨で2番牧草の収穫に大きな影響を与えるなど畜産農家にとっては経営を圧迫する厳しい事態となっていますが、日本の農業は国際社会との競争に負けない農業を目指し、皆様弛まぬ努力をされている事と思います。

その競争に負けない農業を目指すためにも皆様が集まり力の一つにする「系統結集」がなにより重要なことと捉えており、日頃から系統結集のお願いを申し上げてまいりましたが、下記の通りとなっております、系統シェア率が大変高くなっております。

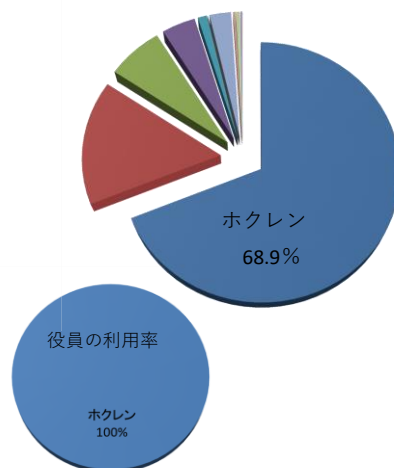
これもひとえに組合員皆様のご協力の賜物と感謝申し上げます。

今後とも系統組織と連携し、組合員皆様にご理解を深めていただき、強固な組合員組織の基盤を築いていく為、職員一同精進してまいりますので、何卒ご協力の程、宜しくお願い致します。

令和2年度 肥料利用率



令和2年度 配合飼料利用率



血圧計と血圧の分類表です
使い方はお近くの職員にお気軽にお尋ねください。



血圧計の設置場所は、本所事務所2階のテラス部分です。

新型コロナウイルスが蔓延している中、枝幸町においても新たな感染者が確認されており、未だ収束の兆しが見えない中、気軽に病院へ行き健康チェックを行うことを躊躇するような情勢です。そこで健康管理の一助として本所事務所に血圧計を設置しました。「**血圧は健康を知るパロメーター**」です。血圧が高いと生活習慣病のリスクが上昇し、心臓や脳・腎臓などの病気を招きます。医療現場では、家庭で測る毎日の血圧値重視する姿勢が強まりつつあります。

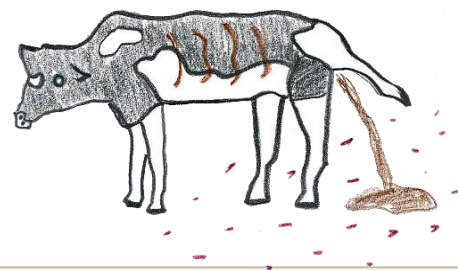
皆様もご来訪の際には、ぜひ血圧測定を行ってみてください。



血圧計を
設置しました

恐ろしい家畜伝染病

ヨーネ病



日本では、5年に1度必ず行われる、牛のヨーネ病検査が9月から始まりました。枝幸町においても過去何度もヨーネ病が発生し、個体の移動規制や販売規制が行われ、経済的にも大損失した組合員がおります。

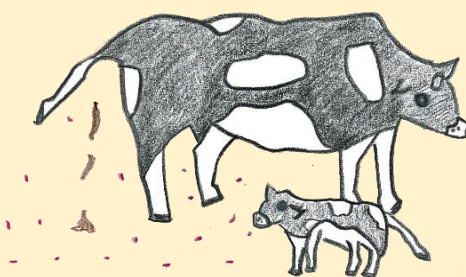
そこで、ヨーネ病とは何か今一度確認してみましょう。

・ヨーネ病とは

- ・牛・めん羊・山羊の法定伝染病。→感染の疑いがあれば都道府県知事に届ける必要がある。
- ・ヨーネ菌が感染する発症する細菌感染伝染。
- ・発症した場合、慢性的な水様性の下痢となり、消瘦状態となり死亡に至る。
- ・効果的な治療薬が無い。

・感染経路

- ・感染経路の多くは、感染牛を導入することで農場に侵入する。
- ・感染牛の糞便や汚染された水や飼料から経口感染する。
- ・重度の感染母牛の母乳を摂取した子牛に感染する。
- ・感染母牛の胎児が子宮内で感染する。
- ・感染から発病まで6カ月～数年（潜伏期間）の期間を要する。



・対 策

- ・治療法がないので、予防策を徹底させる。
- ・定期的な検査による早期発見。
- ・農場内の消毒の徹底。



伝染病等の予防は病原菌を持ち込まず・持ち出さず
が基本ですので、日頃から農場内の消毒を徹底して下さい。

授精所便り

～妊娠鑑定～



近年、農場における妊娠鑑定に直腸検査だけでなく、超音波検査や乳汁検査といった新しい検査方法が利用できるようになりました。今回は、それぞれの妊鑑の特徴や注意点を再確認しましょう。

1. ノンリターン法

授精後、発情が来ないことを確認する方法です。牛の妊娠診断法として最も古くから用いられていて、名前を知らなくてもほとんどの農場で実施されている方法です。牛にストレスをかけることなく、最も簡便ですが、最も難易度の高い方法です。行動や外陰部など、毎日牛の観察をすると精度は高くなります。

2. 直腸検査法

直腸検査によって妊娠の有無を確認する方法です。授精後40日前後から実施可能で精度は高く、獣医師であれば空胎であった場合その場でホルモン投与などの処置を行うことが可能です。

3. 超音波検査法（エコー）

獣医師による超音波検査によって妊娠の有無を確認する方法です。授精後30日前後から実施可能で双子や胎児の心拍も確認できます。また、直腸検査よりも卵巣や子宮の状態を正確に把握できるため、より適切な処置を行うことが可能です。

4. 乳汁検査法

近年利用可能になった乳汁中の妊娠関連糖タンパク（PAGs）を検出する方法です。授精後28日から実施可能ですが、授精後50～70日に行った場合は判定保留（±）の割合が増加します。また、+の判定を受けたのに受胎していなかった牛が6～10%程出ようです。（当農協では、乳検サンプルを利用し検査する事が出来ます。）



プラスをもらっても安心してはいけません！！

授精後40日以前に行う妊鑑を早期妊娠鑑定と言ったりしますが、この時期は流産の発生率も高いため注意が必要です。早期妊娠鑑定で妊娠していた牛が、40日以降の妊鑑までに10～20%程度流産していたという海外の調査結果がありますので、**再度の妊娠鑑定は必ず行う必要**があります。早期妊娠鑑定の最大の目的は空胎牛の早期摘発にあります。上記方法を上手く併用して、思わぬ空胎牛を減らし安定経営に繋げましょう。

みどりの食料戦略

我が国の食料・農林水産業は、大規模自然災害・地球温暖化、生産者の減少等の生産基盤の脆弱化・地球コミュニケーションの衰退、新型コロナを契機とした生産・消費の変化等の課題に直面しており、地球の将来を見据えた持続可能な食糧システムの構築が急務となっています。このため、農林水産省では令和3年5月に、食料・農林水産業の生産力向上と持続性の両立をイノベーションで実現する「みどりの食料システム戦略」を策定しました。

みどりの食料戦略とは？

この戦略は、食料の生産力の向上と30年後の温室効果ガス排出ゼロなど地球環境に配慮した持続可能な農業の両立を先端技術を積極的に活用して実現しようというもので2050年に有機農業100万ha目標などがあります。農業者の人口減少などの中でスマート農業は農業に関わる人を広げ農村に住む人を増やすなど農村活性化を図るねらいもある。

詳しくはこちら ➡ **みどりの食料システム戦略** 検索 ➡
<https://www.maff.go.jp/j/kanbo/kankyo/seisaku/midori/index.html>
➡ 北海道農政事務所の取組はこちらから
https://www.maff.go.jp/hokkaido/kikaku/midori_hokkaidou.html

問合せ先 農林水産省北海道農政事務所企画調整室 ☎ 011-330-8801
農林水産省大臣官房環境バイオマス政策課 ☎ 03-3502-8056
(問合せメールフォームURL)
✉ <https://www.contactus.maff.go.jp/j/hokkaido/form/4762.html>

農林水産省

SDGsとは？



SDGsとは「持続可能な開発目標」で「世界中にある環境問題・差別・貧困・人権問題」を課題に世界の皆で2030年までに解決していこうという計画・目標のことです。

2030年を達成年限とし17の目標と169のターゲットから構成されています。

農業との関わり

- ・食料の供給
- ・自然環境の保持
- ・雇用の創出

農業に関わる取組事例

- ・AIを用いた自動野菜収穫ロボット
- ・農畜水産物の新たな流通支援プラットフォーム
- ・AIによる画像認識で稲開花を報せてくれる自動システム
- ・Society 5.0（経済発展と社会的課題の解決を両立する人間中心の社会）で農業・食品版の実現とSDGsの関わり
- ・農業女子プロジェクト
- ・雇用の創出

皆さんも、このような取り組み・目標をもってみませんか？



北海道コンサドーレ札幌とJAグループ北海道の食農教育・社会貢献活動シンボルマークが決定！！

北海道コンサドーレ札幌とJAグループ北海道は、SDGsを基本方針とし食農教育・社会貢献活動をさらに発展させていくことを目的として、今年3月に新たに相互協力協定を締結しました。今年4月からは、新たな連携活動の象徴となるシンボルマークの公募を行い、約3カ月間で、道内外から81作品もの応募をいただきました。

その中で最優秀賞に輝いたこちらのシンボルマークは、長崎県在住の30代女性がデザインしたもので、今後、「コンサ・土・農園（コンサド・ファーム）」や「みんなのよい食JA親善大使」など、様々な活動で使用される予定です。

直近の連携活動としては、「コンサ・土・農園」で収穫した野菜のチャリティー販売を計画しています。トウモロコシは8月下旬・ジャガイモは9月下旬の北海道コンサドーレ札幌のホームゲーム時に、札幌ドームで販売予定です。

【連携活動については、本会SNSでも情報を発信しています！】 Twitter: @JA_HOKKAIDO_PR / Instagram: @ja_dosanko / Facebook: @jahokkaido



JA北海道信連



JAバンクで年金をお受取りされている方を対象に、窓口で「招福ようかん」をプレゼントする「年金サクスプレゼント」を開催しています。今年は多くのJAで7月1日から、また、一部JAでは8月1日以降からお渡ししています。さらに、北海道警察とも連携して、招福ようかんパッケージに“特殊詐欺被害にあわれないよう注意喚起の標語”も印刷し配布しています。JAバンク北海道は、地域住民の暮らしや財産を守る地域貢献活動に引き続き取り組んで参ります。



JA共済連北海道



JA共済では、『自動車共済お見積りキャンペーン』を実施しております。インターネットに開設したキャンペーンWebサイトへご応募いただいた方の中から、抽選で総計13,000名様に家電などの素敵な賞品が当たります。キャンペーンは令和4年3月31日(木)までです。この機会にJA共済のホームページにアクセスいただけますようお願いいたします！



JA共済ホームページアドレス <https://www.ja-kyosai.or.jp/>

ホクレン



北海道神宮例祭に合わせ大鏡餅を奉納

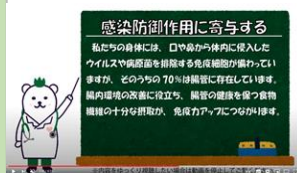
北海道もち米団地農協連絡協議会（事務局：ホクレン）は6月11日、北海道神宮例祭に合わせて、日本一の生産量※を誇るもち米産地として、疫病退散（新型コロナウイルスの早期収束）と、もち食文化の振興も含めた北海道の農林水産業・経済の持続的な発展を祈願して、北海道産「はくちょうもち」を使用した総重量120kg級の特大鏡餅を北海道神宮へ奉納しました。 ※令和2年産米農産物検査実績（2021年3月31日時点）



JA北海道厚生連



帯広厚生病院のYouTubeで「管理栄養士のお昼ご飯 職場飯編」の動画を公開しております。管理栄養士が教える栄養バランスの良いお弁当の作り方、手抜きの方法など、普段お弁当作りをされている方必見の内容です！是非ご覧ください。



↑このサムネイルが目印です！

↑動画内のワンシーン

紹介動画へのQRコードはこちら→



JAグループ北海道の連合会の活動内容をご紹介します。各団体の詳しい取り組み内容はWEBサイトをご覧ください。

大地がひとを強くする。

AGRI ACTION!

HOKKAIDO

